

専門学校生の職業世界への 接近・参入過程の検討

植上 一希 氏 (福岡大学人文学部・准教授)

講演概要 1975年度の制度化以降、主に新規高卒者の進学先（中等後教育機関）として専門学校は発展してきた。今では、新規高卒者の約17%が専門学校に進学し、主に2～3年の修業期間を経て職業世界へと参入している（学生数は約58万人）。本報告では、今まであまりスポットが当てられてこなかった、専門学校生の学びについて、とくに彼らの職業世界への接近・参入過程に着目する視点から、その実態と意義・課題を論じたい。

2013年6月19日（水） 16:00 – 18:00

場所：名古屋大学 東山キャンパス 文系総合館 3F 306 演習室

お問合せ先：info@cshe.nagoya-u.ac.jp Tel: 052-789-5696

ご参加いただける方は、事前に上記メールアドレスまでご一報いただくと助かります。
会場準備の都合によるものですので、必須ではありません。